

## 今週（10月4日から10月8日）の短期金融市場動向

### ●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、ビッドサイドの堅調な調達意欲から、しっかりと地合いが継続した。週後半にかけては、取り上がる先が増えたことから更に強含む展開となった。無担保コールO/Nは、邦銀を中心に▲0.045～▲0.001%のレンジでの出会いが見られた。積み期後半となったことで、ビッドサイドの調達意欲はさらに堅調となり、4日の加重平均レートは▲0.017%、5日は▲0.015%と上昇基調で推移した。6日以降は調達サイドの参加者が増加したことで、ビッドレンジが切り上がり、更にレートは上昇した。週末8日は3日積みにあたる為、さらに取り上がる動きが見られた。ターム物に関しては、ショートタームでの引き合いが散見された。日銀当座預金残高は概ね530兆円台半ばで推移した。

### ●レポ市場

今週のGC T/N物は出会い水準は概ね▲0.090～▲0.080%程度だった。SCはロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は、3M・6Mゾーンは週半ばまでは、やや堅調な水準を維持していたが、入札を挟んで軟調な展開となった。一方で1Yゾーンは動意に乏しく、先週比横ばい圏での推移となった。

5日に実施された短国買入オペは、前回と同額の1,000億円でオファーされ、やや弱めの結果となった。応札倍率が高い状態が続いており、売却需要の高まりが意識された。

7日に実施された6M物の入札は、無難な結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは底堅く推移した。

8日に実施された3M物の入札は、発行額と市中償還額の差が縮小していく中、発行日と償還日がニューヨークの祝日にあたることもあり、やや弱めの結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは若干甘めに推移した。

### ●CP市場

今週のCP発行市場は、一部の業態から大型発行も実施されたものの、総じて発行案件が少ない落ち着いたマーケットとなった。発行レートについては、引き続き殆どの銘柄がマイナス圏で推移しており、希少銘柄では9月末越えほどではないものの、引き続き強い買い需要が見られている。市場残高は23兆円台前半で推移しており、9月末からは既に2兆円程度の増加となっている。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
10/4 (月)	28,444.89	0.045	110.97	△ 0.017	△ 0.081	5,355,900
10/5 (火)	27,822.12	0.060	110.92	△ 0.015	△ 0.085	5,368,400
10/6 (水)	27,528.87	0.080	111.62	△ 0.012	△ 0.084	5,343,100
10/7 (木)	27,678.21	0.070	111.38	△ 0.009	△ 0.082	5,346,200
10/8 (金)	28,048.94	0.080	111.72	△ 0.008	△ 0.080	5,353,900

## 来週（10月11日から10月15日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
10/11 (月)					米国祝日(Columbus Day)
10/12 (火)	9月の企業物価指数(日銀 8:50)	30Y 9,000億円 10/13発行			
10/13 (水)	8月の機械受注統計(内閣府 8:50) 9月のマネーストック(日銀 8:50)	交付税借入 11,000億円 10/22借入			9月の米財政収支 9月の米消費者物価指数
10/14 (木)	鳥取県金融経済懇談会において野口審議委員講演	5Y 25,000億円 10/15発行			9月の米生産者物価指数
10/15 (金)	8月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30)	TB3M 50,000億円 10/18発行			9月の米小売売上高 8月の米企業在庫 10月のミシガン大消費者信頼感指数速報

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
10/11 (月)	600	▲ 25,700	▲ 25,100	国債買入 CP買入 社債買入 国債補完		14,800 ▲ 200 1,300 400	16,300	▲ 8,800	TB3M発行▲53000償還47300 TB6M発行▲34500償還18100
10/12 (火)	0	▲ 1,000	▲ 1,000				0	▲ 1,000	
10/13 (水)	0	▲ 8,000	▲ 8,000	全店共通	▲ 4,000		▲ 4,000	▲ 12,000	源泉税揚げ 社会保障 30Y発行▲9000
10/14 (木)	▲ 1,000	▲ 1,000	▲ 2,000				0	▲ 2,000	
10/15 (金)	▲ 1,000	49,000	48,000				0	48,000	年金定時払い 5Y発行▲25000 個人向け3Y・5Y・10Y発行▲2300 償還1700 交付税借入▲11000期日11000
週間合計	▲ 1,400	13,300	11,900	—	▲ 3,800	16,100	12,300	24,200	

10/11は日銀予想、10/12以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、積み最終週にあたり、大手行を中心としたビッドサイドの動向が注目される。11日に発表される、10月積み期間に適用される基準比率は13.5%程度（9月は15.0%）を予想する。レポ市場は、積み期間最終週となり、資金ニーズが注目される。GC T/Nは、今週と同水準の推移を予想する。短国市場は、15日に3M物の入札が実施予定となっている。需給やレート水準を含め、市場動向が注目される。また、12日に実施が予想される短国買入オペのオフアール額にも注目したい。CP市場は、10月中旬に入り、事業法人の発行動向が注目されるほか、13日にCP等買入オペが予定されており、レート水準が注視される。

主要なイベントは、海外では13日に9月の米消費者物価指数が予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。